

ものづくり最前線！！

2018年12月号

【今月のごあいさつ】

11月2日(金)に東京ビックサイトで開催の「JIMTOF2018」に行きまして。今回は11月1日(木)から11月6日(火)まで6日間の開催で、来助者数は目標数値としていた15万人を超える153,103人(重複なし)となりました。私達が行った2日は来場者数47,115人(重複あり)と開催中二番目に人が多い日で、到着した朝一番からビックリ！とにかく人、人、人のすごい人でした。そんな中、今回のテーマは「未来へつなぐ、技術の大樹」で、各ブースでは～ものづくり新時代！～未来に勝つために！など、自動車産業が100年に一度の大転換期と言われる時代に、克ち進む革新を目指していることが感じ取れる展示会でした。見どころは話題のIoTやAI、積層造形(AM)、ロボットが工作機械を変革する。それらを支える多軸制御や情報化に進化し続ける数々の工具などでした。モノづくりの変革を予感させる、最先端技術が集結した「JIMTOF2018」でした。



< JIMTOF2018 >

【ものづくりピックアップ】

事前申し込み制

ブラザー工業(株)×オーエスジー(株)×(株)東京精密 第二回 3社コラボショー

ブラザー工業は、切削工具大手のオーエスジーと精密機器大手の東京精密と合同でコラボショーを開催します！ブラザー工業は今秋発売した最新機種「F600X1」「R650X2」「S500X2」の3モデルを展示、オーエスジーは高能率・低抵抗・高精度すべてを叶える穴あけ&ミリング汎用工具の提案、東京精密はTHK(株)とともに検査室の省人化として『ロボット搬送での省人化』の提案を行います。実演機多数展示の他、予約必須のテクニカルセミナーもございます！

ぜひ御来場お待ちしております♪



<申し込み>

<https://brother-ms.secure.force.com/user/PVShowEntry>

FAX: 申込書をお渡ししますので、お問い合わせください！

日時 2019年1月29日(火) 13:00-19:00

1月30日(水) 10:00-16:00

場所 ブラザー工場 産業機器刈谷ショールーム
愛知県刈谷市野田町北地蔵山1番地5

【会社案内】 有限会社パール金属

2018年4月2日より、新本社オフィスにて営業を開始させていただきます。

新本社住所：名古屋市瑞穂区大喜新町二丁目28番
電話：052-693-5800 / FAX：052-693-5802

※電話・FAX番号変わります！

事業内容：機械工具・工作機械・工場用
設備用品、産業機器などの卸販売
分電盤・配電盤用のオリジナル鋳金部品の販売、環境設備商品の卸販売

お問合せ：info@pro-kogu.com

社長ホットライン：090-2928-3231

(お客様相談窓口：堀口)



【堀田ウォーカー】 TABI CAFE

今回ご紹介するのは、神宮前駅から徒歩三分のところにあるTABI CAFÉさんです。メインにサラダとおかずが二品付いたセット、カレーや丼ものなど、どの時間帯でもいつも豊富なメニューがあり、選ぶのに迷うほどです。(写真はランチのベーグルセットです。)旅をテーマにしたこちらのカフェですが、店内は、様々な国の雑貨で飾られていて、椅子やテーブルもモチーフの国ごとに一つ一つ違います。また、国内外のガイドブックが常時置いてあるので、旅行の計画をここでご飯を食べながら立てるのも楽しいと思います。

[住所・電話番号]

愛知県名古屋市熱田区三本松町7-18

[営業時間]

火～土・祝前日：11:00～21:00

日・祝日：11:00～20:00

[定休日] 月曜日



【今月の売れ筋商品】 NANO TOP (ナノトップ)

金属・ゴム・プラスチックをはじめとする様々な素材を
変質・損傷せず、頑固な汚れを逃がさず洗い落とします。

◇松の樹液と水だけで作られているので
安心安全の洗剤です！

◇油を浮かして汚れを取ります！

◇手や肌を傷めない優しい洗剤です。
家庭用洗剤の手荒れにお悩みの方に！

◇機械・電機・自動車工場や建物の清掃
メンテナンス、ご家庭など、幅広く
ご利用いただいております。
野菜の洗浄もOK♪



<商品名> NANO TOP

- ★500ML スプレー ¥1400(税別)
- ★2L 詰替え用 ¥3800(税別)※2 倍濃縮
- ★18L 業務用 ¥31500(税別)※2 倍濃縮

【歴史に学ぶ生き様】

小林一三

阪急電鉄・宝塚歌劇団・阪急百貨店・東宝をはじめとする阪急東宝グループの創始者。もともと阪急電鉄の前身となる箕面有馬電気軌道は、福知山線に並行する電気鉄道路線を敷設し、大阪の梅田から箕面・宝塚・有馬方面へ頻発運転を目的として設立されようとしていた。しかし恐慌に見舞われ全株式の半分も引き受け手がないという苦境に追い込まれていた。この時、社長は不在であったため彼が経営の実権を握り、1910年に開業。これに先立って線路通過予定地の沿線土地を買収・郊外に宅地造成開発を行うことで付加価値を高めようとし、当時はまだ珍しかった割賦販売による分譲販売を行い、成功を収めた。また日本で初めてのターミナル・デパートを設ける計画をすすめる、阪急百貨店を開店。鉄道会社が直営で百貨店を経営するといった事例はなかったが、小林は「素人だからこそ玄人では気づかない商機がわかる」「便利な場所なら、暖簾がなくとも乗客は集まるはず」などと言って事業を推し進め、世界恐慌のさなか多くの客を集めることに成功した。



【今月のビジネスコラム】

日本物流新聞より

18年度機械生産額改訂見通し、77.3兆円に上方修正

日本機械工業連合会は2018年度生産額改訂見通しを前年度比2.9%増・当初見通しより5418億円の上方修正の77兆3121億円と発表。輸送機械、一般機械、電気機器などが上方修正に大きく寄与した。輸送機械の中でも当初「横ばい」と見ていた自動車と自動車部品が増加に転じ、航空機も0.5%→2.8%増に修正した。一般機械は半導体・FPD製造機械・ボイラー・原動機・冷凍機・同応用装置が上方修正を押し上げた。生産の伸び率を下方修正したのは金属加工機械(14.7%→8.0%増)とロボット(13.9%→4.2%増)。需要こそ堅調ながら、部品・資材の入手難と人手不足が生産に影響を与えた。全体の動きとして国内は、伸びは緩やかながら、人手不足を背景とした根強い省人化・自動化ニーズと東京五輪開催に伴う社会インフラ整備の投資に期待を寄せた。海外は「為替の安定が生産増加に寄与している」とまとめた。一方「米国の保護主義的な通商政策が及ぼす貿易動向」「上昇基調にある石油価格」「原材料・資源をめぐる地政学的なリスク」などが注視していく必要がある項目として挙げられている。

【社員の声】

原瀬 益

12月の年末に近づくにつれ、一層寒さが厳しくなり、いよいよ冬本番を迎えようとしています。皆様はいかががお過ごしでしょうか。今年一年を振り返ってみると、私ごとですが大きな節目とともに沢山の人の助けを借り、まだまだ未熟だなと思うことばかりでした。今後は皆様の力になれるように頑張りたいです。さて、定期的に講師をお招きして、切削工具の勉強をする機会があります。日々注文を受けている中で知らないことがあると、都度カタログで調べたり、人に聞いたりしますが、講習を受けると自分がどの程度分かっていて知識がないことは何なのか気づくことができます。また、フライスカッターや旋盤バイト・チップの選定の仕方、それぞれの工具の名称など、なんとなく知っているつもりでも、勘違いしていたり、人に説明できなかつたりします。今後は習得した知識を活かし、お客様がどういう加工をしているのか、図面から読み取れて、その加工に最適な工具をおすすめできるようになりたいと思います。

